



【男子Bロードレース】積極的なレース展開で2位に入った井上悠喜(左)＝階上町特設コース

「悔しい」積極レース実らず

「悔しい」。男子Bロードレース決勝の井上悠喜(松山学院高)は積極的なレースを引張ったが最終局面で2位に甘んじ、無念をこぼした。高低差のある1周14kmを5周する約70kmのレース。「短いコースなので最初からいく」と井上は1人で逃げる戦略を立てた。勝負どころをコース序盤と終盤にある上り坂と見極め、何度も仕掛けた。しかし、全国高校総体覇者の井上の飛び出しを周りは許してくれない。京都の選手と一騎打ちとなった最終周。疲れもあって相手の逃げに反応が遅れ、仕掛けることもできなかった。井上の戦略はライバルに劣るスプリント力を補うためでもあった。目の前で優勝を決められ「力不足だった」と完敗を認めた。それでも常に先頭集団の前方に位置取り存在感を示した。高校2年の春、初の海外レースに臨み「前に出る外国選手の積極性に圧倒された」という。苦い教訓として考え方を改め、磨き続けた積極性は発揮した。高校卒業後は海外でのロードレース挑戦を見据える。「最終盤でも出せる高出力を身につけたい」。最後の国スポで突きつけられた宿題に向き合い、さらなる高みを目指す。

(織田龍郎)

自転車



▽青森県階上町特設コース
▽男子A個人ロードレース(98分)
▽本田音雄(明大) 途中棄権

男子B 井上(松山学院高) 2位

国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」は11日、青森県階上町特設コースなどで行われ、愛媛勢は、自転車競技で4年連続の男女総合優勝を達成、男子B個人ロードレースで井上悠喜(松山学院高)が2位に入った。

重量挙げでは、成年男子94kg級の矢倉士(住友)

金魚(山)がスナッチで優勝。同110kg級の福山草生(新居浜市消防本部)も5位に入った。スポーツライミングは成年男子ボルダーで、清水裕登(県競技力向上対策本部)大政涼(ダイキアクス)組が4位入賞した。

記録は愛媛勢

本編観(日大) 途中棄権
▽男子B個人ロードレース(70分)
▽井上悠喜(松山学院高) 1
時間引分秒、松田奏太郎(松山学院高) 途中棄権
▽女子個人ロードレース(42分)
日野母以(松山学院高) 途中棄権
井上悠喜(松山学院高) 途中棄権

男女総合4連覇

最終日を迎えた青森「媛」が4年連続の総合優勝「国」の意地を示した。国スポの自転車は、愛媛勢を達成「自転車王」。「今年は厳しいかも

国民スポーツ大会「青の煌めきあ
おもり国スポ」は10日、青森市のマ
エダアリーナで総合開会式が開か
れ、天皇、皇后両陛下をお迎えして
開幕した。一昨年に国民体育大会
から改称された大会は、青森県では
1977年以来49年ぶり2度目の開催。

競技は会期前から続く自転車のほか重量挙げなどが行われた。愛媛勢は自転車のスクラッチで男子Aの木綿峻介（日大、松山学院高出）と男



第1目

子Bの松田奏太朗（松山学院高）が優勝を飾り、スプリントでは男子Bの山崎帝輝（松山学院高）が頂点に立ち、男子Aの松岡勇斗（日大、松山学院高出）は5位、女子の玉井葵

妃（日体大、松山学院高出）は7位だった。

重量挙げでは成年男子79^{kg}級の本田大智（新居浜工高教）がジャークとトータルで3位、スナッチは6位入賞した。同60^{kg}級の山下晴生（早大、新居浜南高出）はジャークで7位、トータルで8位に入った。

20日までの本会期では陸上やサッカーなどで熱戦が繰り広げられる。

—記録は愛媛勢

愛媛勢圧巻 3種目制覇



【男子Aスクラッチ決勝】落ち着いたレース運びで優勝した木綿峻介(左から2人目)＝八戸自転車競技場

男子Aスクラッチ・木綿(松山学院高出)

復帰戦 光る冷静さ

しれるような「男子ス
パットだ」男子ス
タクラッ決勝・本納
介(日大)は冷静に
5連びで、けがから約半
年ぶりの復帰戦、観やか
な優勝で飾り「苦が報
れた」と破顔した。

残り2回・本納・第2
集団で全体の10重であ
りがつけた。先頭の差
が1分の1周ほどに開く
中、勝負どころと見込め
たのはラスト2周半。ラ
イバルの疲労度、残り
距離から「今日のメン
タの中では一番速い」
とタイミングと、気に
スパートをかけた。

レース中盤「じじり
と先頭選手の差はあ
っても「絶対届く」と焦

りを加え、比較的ゆとりとした展開の前戦で、走り切らためたのも後半は負傷した。

今季は4月に負ったけがの影響で苦しいシーズンに落ちる。8日予選は半年ぶりとなったが、種目の偏属だったのが、倍々なげな一決勝出を果した。下不安を拭き、2レースを通過して冷静に光った。

北海道出身。松学院院高で過ごした3年間、全国も心の支えとなっていた。「愛媛県」は、毎年1月には開いた場所、選ばれるなら、来以降も愛媛代表戦から「愛媛」を冠した「織田龍馬」

(織田龍郎)

男子Bスクラッチ・松田(松山学院高)

終盤に勝負「会心」

「会心のレースだった。最終周にもう一度入るまでスクラップ決勝を制した松田泰太郎（松山学院高）は、大谷（松山）を抜けて勝利に導いた。」

2人がゴールまでの8人で駆け引きしなら争った決勝。全国高校生総体の3000メートル個人は抜きさきで連闘した松田は、開きの徹底マークに遭った。

空気の抵抗を受け先頭を走らされた、集団から逃れ出すどころか、走りが遅く、一驚きが強まると、松田はバースト力勝負を懸けた。全力でペダルを踏み込み、逃げ切りに成功し、最後

のプリントが自分の味
ち味と胸を張った。
兵庫県から松山学院
に今。当初はロドリ
ースが主戦場だったが
1年時テニショナルチ
ムの活動に参加したこ
ろから、かきでドラッ
グの目に入れた。
スズキが増え、対応
が薄まった。「この日
スパットは、2年ある
磨いたスプリント、ロ
ドリをこころよく発揮
た組だった。
最終はロードレフ
に出席、「チームに真
でさうな頑張りたい
と意気込んだ。」
(織田龍郎)

(郷田龍郎)



【男子Bスクラッチ決勝】優勝を決め、喜びを爆発させる松田泰太郎
八戸自転車競技場

男子Bスプリント・山崎(松山学院高)

王者の脚力で圧倒

王者の風格が漂っていた。男子Bスケートの山崎帝雄（松山学院高）は危なげのない走りではなかったが、ウーニンゲンで完走した高々と上げ、喜びをあれこれと述べた。

2人が同時にスタートした。2周した箱根を越えて種目と2人掛けるという種目は先に相手を倒す。勝敗は引きが勝負を握っていた。

2戦先勝方式決勝は岡山との選手と対戦。1本目は先に相手倒す。準決勝は相手を倒すが、相手に相応する展開だったが、相手の位置を見て常に判断断てた。と自負。優勝を許した2本目も相手の脚力を下げてきた。今季のスタートは国内負けなし。帝雄は強

過ぎる。この日相違を寄付付けない内容でイバルににぞつ言わめた。

東都出身。中学時代は自ら車の適性が認められ、松山学院高校後援戦役の道へ。中学卒業後、組んでいたサッカーで鍛え、脚力を磨き、つぎすべタルをこいざむいた。

表彰台に並んだイバルはもう一回り以上大きくなった。3年間もの努力が証した。

卒後は競輪選手を目指し、「スプリント」で鍛えスレース助や脚を生かし、ついに山崎王将を勝ちつけないのステージに挑む。

(織田龍郎)

(織田龍郎)



【男子Bスプリント決勝】圧倒的な脚力で優勝した山崎帝輝
 八戸自転車競技場

【男子B 1000メートルタイムトライアル決勝】力強い踏み込みで3位に入った山崎帝輝＝八戸自転車競技場



自転車・男子B 1000メートルタイムトライアル

山崎(松山学院高)悔しい3位



国民スポーツ大会「青の煌めきあもり」は9日、青森県八戸自転車競技場で会期前の競技が行われ、愛媛勢は自転車の1000メートルタイムトライアルで男子Bの山崎帝輝(松山学院高)が3位入賞した。

男子Aの松岡勇斗(日大、松山学院高出)が4位、女子の玉井葵妃(日体大、松山学院高)が8位。ポイントレースでは男子Bの井上悠喜(松山学院高)が7位となった。

自転車



▽青森県八戸自転車競技場
▽男子Aスプリント準々決勝
伊沢将也(三重・三重)
松岡勇斗(日大)
10
▽同1000メートルタイムトライアル
④松岡勇斗(日大) 1分39秒79

▽女子スプリント準々決勝
①組 ⑥日野芽以(松山工高)
⑦同ポイントレース決勝(2方)
⑦井上悠喜(松山学院高) 6分41秒86
③山崎帝輝(松山学院高) 1分47秒14

▽男子Bスプリント準々決勝
山崎帝輝(松山学院高) 1分10秒
入田翔(鹿児島・南大陽高)
▽同準決勝
山崎帝輝(松山学院高) 2分10秒
石井颯真(高松工大)
▽同ポイントレース決勝(2方)
⑦井上悠喜(松山学院高) 6分41秒86
③山崎帝輝(松山学院高) 1分47秒14

苦手のスタート改善

1、2位が大会新記録を出した男子B 1000メートルタイムトライアル決勝。山崎帝輝(松山学院高)は一步及ばず3位となり「悔しいが上位との差はあった」とライバルをたたえた。

トラックの両側に分かれた選手が同時にスタートし、3周のタイムを競う種目。1分強の間、力の限りペダルを踏み続ける過酷さで、気力も体力も求められる。今大会のトラック種目は終盤。毎日複数レースをこなした疲労が蓄積する中、山崎は2周目のペースを維持する戦略を取った。タイムはほとんど落とさなかったものの記録は1分4秒866。「1分3

秒は出したかった」と残念がった。課題に取り組んだ成果はあった。同種目に出場した8月のジュニア世界選手権大会に向けた練習で、苦手だったスタートを改善。8日に優勝を飾ったチームスプリントの走りにも生きた。残るは今年の全国高校総体を制したスプリント。愛媛代表として挑む高校年代最後の種目となる予定という。表彰式で悔しさをにじませながら銅メダルを見つめた山崎は「絶対『金』を取る」と力強く言い切った。

(織田龍郎)

は意外とやれた。スプリントは準々決勝で敗れたが切り替えられた。順位決定戦ではやり切る」

最低限の目標達成

女子・玉井葵妃(日体大、1000メートルタイムトライアルで8位)

「ぶっつけ本番のレースで力を出し切り、最低限の目標は達成できた。スプリントは準々決勝で敗れ気落ちして

いたが、順位決定戦は最上位を取る」

レースを楽しめた

男子B・井上悠喜(松山学院高、ポイントレースで7位)「勝

って貢献したかったが、高校最後のポイントレースを楽しむことはできた。ポイント周回後に仕掛けたが振り切れなかった。ロードレースは絶対勝つ」

【男子チームスプリント決勝】予選から修正した走りで頂点に立った愛媛の(左から)本田、松岡、山崎—八戸自転車競技場



最終3走の勝負となった男子チームスプリント決勝。ペダルを踏み抜き、競り勝った松岡勇斗(日大・松山学院高)は左手を空に掲げ、王者の風格を漂わせた。3人1組で1周ごとに1人ずつ離脱していく、着順で競ったチームスプリント決勝。序盤で相手にリードを許す展開にも動じず、経験を生かした高い修正力が光った。

本田・山崎・松岡 個人種目へ大きな弾み

予選でミスがあったコース取りをきっちり修正。加速を遅らせないようにつなげたとし「うまく後の強い2人につなげることができた」と流れをつくった。「先頭交代でうまくスレードに乗れた」と2走山崎帝輝(松山学院高)。前日3レースを走った影響からか、終盤に速度は落としたものの「(ペダルを)踏むことだけを考えた」と3走につなぐ役割を全うした。

(織田龍郎)

高い修正力 経験発揮

最後は大舞台の経験豊富な松岡が貫禄の走りを見せた。メンバーでの練習が十分でない中、予選レースで前との距離感を把握。ペースを上げて僅差の勝負をものにした。「やるべきことをやるだけだった。前の2人が頑張ってくれた」と仲間をたたえた。

(織田龍郎)

国民スポーツ大会「青の煌めきあもり国スポ」は8日、青森県の八戸自転車競技場で会期前の競技が行われ、愛媛勢は自転車のチームスプリントで男子が優勝を飾り、女子は準優勝した。

個人種目の予選もあり、スクラッチ男子Aの木綿峻介(日大・松山学院高)は、男子Bの松田奏太郎(松山学院高)、ポイントレース男子Bの井上悠喜(松山学院高)がそれぞれ決勝に進んだ。

「記録は愛媛勢が良かった」と評した。決勝レース直前、目をつぶって手を合わせ、相性の良さを示した2人は声をそろえた。「来年の大会、2人でリベンジする」(織田龍郎)



自転車チームスプリント 愛媛男子頂点女子準V

結果 手応えと悔しさ

「来年2人でリベンジ」



玉井・井上

「うれしき半分。また、う少し出し切れたかも」。

1走井上が「課題にしていた」というスタートを決めると順調に加速。それに合わせて2走玉井もペースを上げ、ラスト半周に全力を出し切るレースプランを全うした。最後は

「女子チームスプリント決勝」積極的な走りで2位に入った愛媛の井上(左)と玉井(八戸自転車競技場)

「来年の大会、2人でリベンジする」(織田龍郎)

「来年の大会、2人でリベンジする」(織田龍郎)

「来年の大会、2人でリベンジする」(織田龍郎)

自転車・男子4000団体追い抜き

愛媛 6位入賞

青森
国スポ
2026

国民スポーツ大会

「青の煌めきあおもり国スポ」は7日、青森県八戸市の八戸自転車競技場で会期前の自転車が始まった。愛媛勢は男子4000団体追い抜きで

設定タイムで走行

松山学院高・松田奏太郎（男子4000団体追い抜きで6位入賞）「各自が設定タイムで走れた。メンバー全員はそろわないことがあったので、練習不足を話し合いで補った。気持ちを高め、個人種目に向かいたい」

6位入賞。チームスプリントの予選で男子が1位、女子は2位で8日の決勝に進んだ。

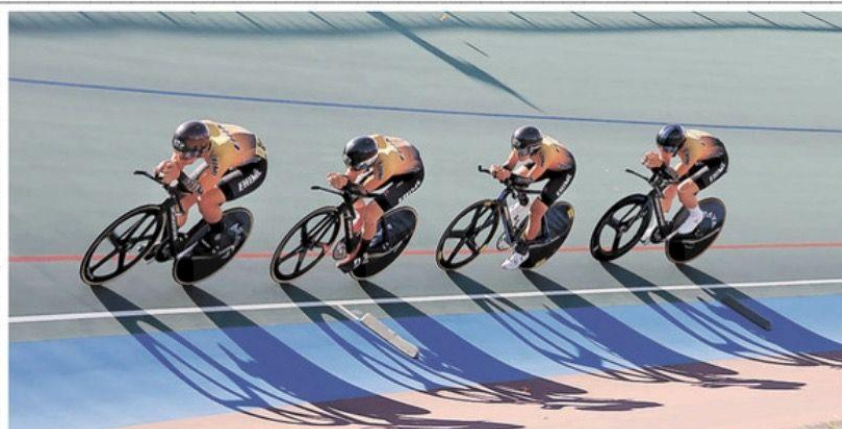
追い抜きは、木綿峻介（日大、松山学院高）、山崎帝輝、松田奏太郎、井上悠喜（以上松山学院高）で出走した。

記録は愛媛勢

自転車



（青森県八戸自転車競技場）
▽男子Aスプリント予選 ⑨松岡勇斗（日大）10秒479 11回戦進出
▽男子Bスプリント予選 ②山崎帝輝（松山学院高）10秒143 11回戦進出
▽男子4000団体追い抜き予選（5位以下は順位確定）⑥愛媛（木綿、山崎、松田、井上）4分22秒768
▽同チームスプリント予選（5



【男子4000団体追い抜き】息の合った走りで6位入賞した愛媛のメンバー（左から井上、松田、山崎、木綿）
＝八戸自転車競技場（撮影・織田龍郎）

位以下は順位確定）①愛媛（木田、松岡、山崎）1分23秒649 11回戦進出
▽女子ケイリン1回戦「1組」⑥日野芽以（松山工高）
▽同チームスプリント予選（5位以下は順位確定）②愛媛（玉井、井上）48秒411 11回戦進出
▽敗者復活戦へ